

7 - 1 近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動（2001年11月～2002年4月） Recent Seismic Activity in and around Kinki, Chugoku and Shikoku Districts （Nov, 2001-Apr, 2002）

大阪管区気象台

Osaka District Meteorological Observatory, JMA

2001年11月～2002年4月の震央分布図を第1図～に示す。この期間、図の領域内でM4.0以上の地震は17回発生している。このうち大阪管区気象台担当領域での最大規模の地震は2002年3月25日伊予灘、M4.7の地震であった。

この期間、大阪管区気象台担当領域での有感地震発生数は157回、鳥取県西部地震の余震で53回、芸予地震の余震で4回、和歌山、奈良県境付近の地震で28回等となっている。

主な地震活動は次のとおりである。

(1) 平成12年(2000年)鳥取県西部地震の余震活動（第2図～）

余震域及びその南西側、東側の誘発された活動域の余震活動は順調に減衰している。その中で2002年1月24日16時8分にM4.5の地震（鳥取県会見町、岸本町、島根県安来市、伯太町で震度4）が発生しその後一時的に活動がやや活発となった。この地震の活動域は本震発生後、約1ヶ月くらい活動が活発であったが、その後静穏化していた領域である。

また、2002年3月6日7時12分、M4.5の地震（鳥取日野町根雨で震度4）が発生した。

なお、2000年10月6日から2002年4月30日までの有感地震回数は1,228回である。

(2) 平成13年(2001年)芸予地震とその周辺の地震活動（第3図～）

芸予地震の余震活動は順調に減衰し、この期間の有感の余震は4回（いずれも震度1、最大規模の余震は2001年11月2日21時56分M4.0）であった。2001年3月24日～2002年4月30日までの地震発生数は776回、有感地震回数は43回である。

2002年1月13日11時47分、愛媛県中予地方でM4.0（愛媛、高知、山口県で震度1）が発生した。この地震の発震機構は東北東～西南西方向に張力軸のある正断層型である

2002年3月25日22時58分、芸予地震の余震域の南端から南西約20kmの伊予灘でM4.7（愛媛県今治市南宝来町、丹原町鞍瀬丁などで震度4）が発生した。この地震の発震機構は北東～南西方向に張力軸のある正断層型である

2002年4月6日01時57分愛媛県南予地方でM4.5（愛媛県松野町松丸で震度4）が発生した。この地震の発震機構は西北西～東南東方向に張力軸のある正断層型である。

これらは全てフィリピン海プレートのスラブ内で発生した地震である。

(3) 和歌山・奈良県境（龍神村、十津川村）付近の地震活動（第4図～）

和歌山・奈良県境付近で2001年5月29日から微小地震の活動が続いている。この領域の活動は2001年8月下旬頃をピークとして次第に減衰傾向を見せていたが、2002年1月4日に活動域の南東側の奈良県十津川村を中心にM4.0、震度3の地震を最大とする11回の有感地震が発生するなど活動が活発化した。

また、3月28日4時42分にM3.6、6時39分にM3.7（いずれも最大震度2）が発生し、一時的に活動が活発化した。なお、この領域における2001年5月～2002年4月の有感地震は38回となっ

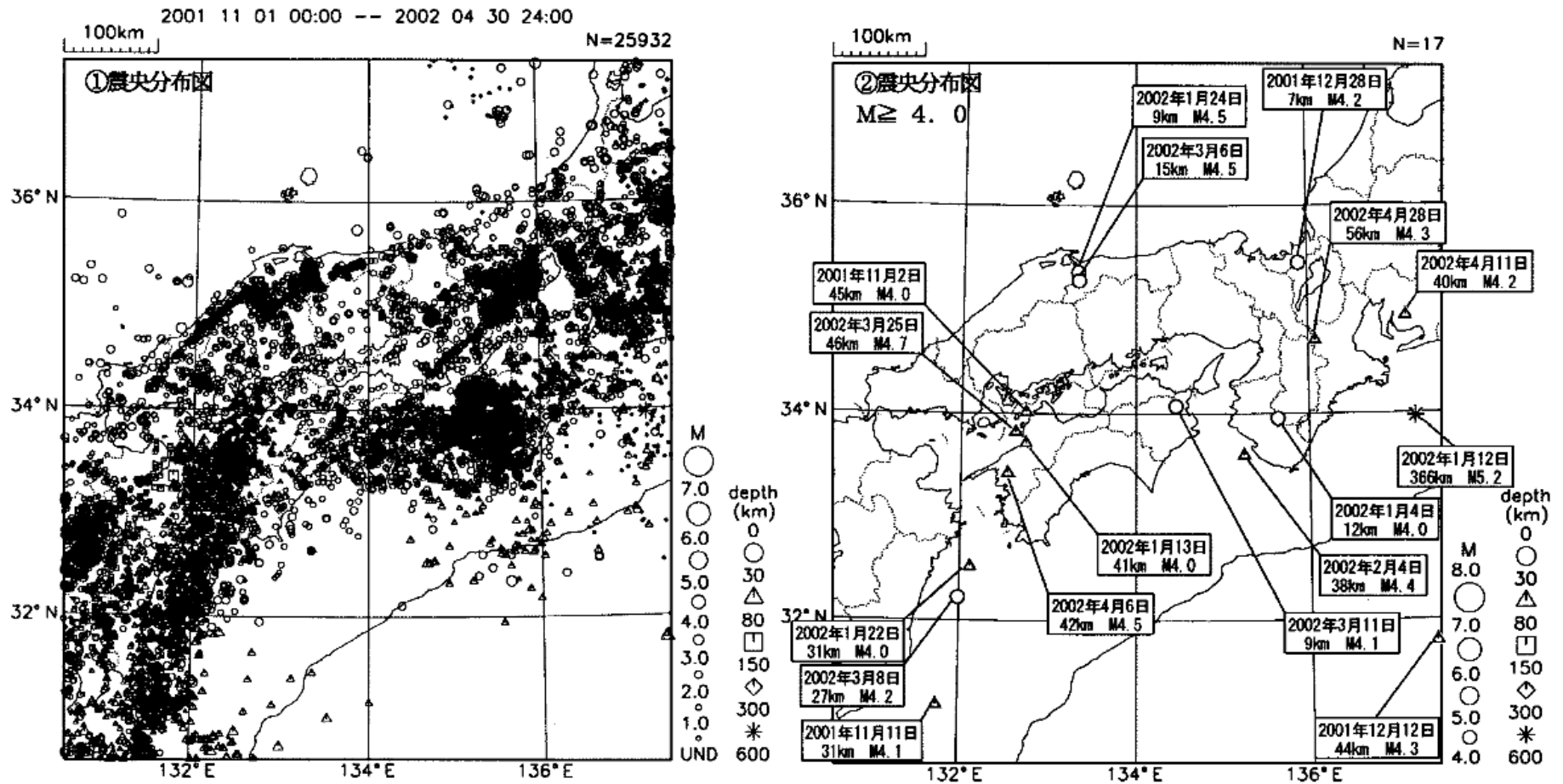
ている。

(4) その他の地震

2月4日06時01分、紀伊水道でM4.4（和歌山川辺町などで震度3）が発生した。この地震の発震機構は北西～南東方向に圧力軸のある逆断層型である。

3月11日15時54分、徳島県北部でM4.1（徳島市大和町などで震度3）が発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸のある横ずれ型である。

近畿・中国・四国地方とその周辺の地震活動

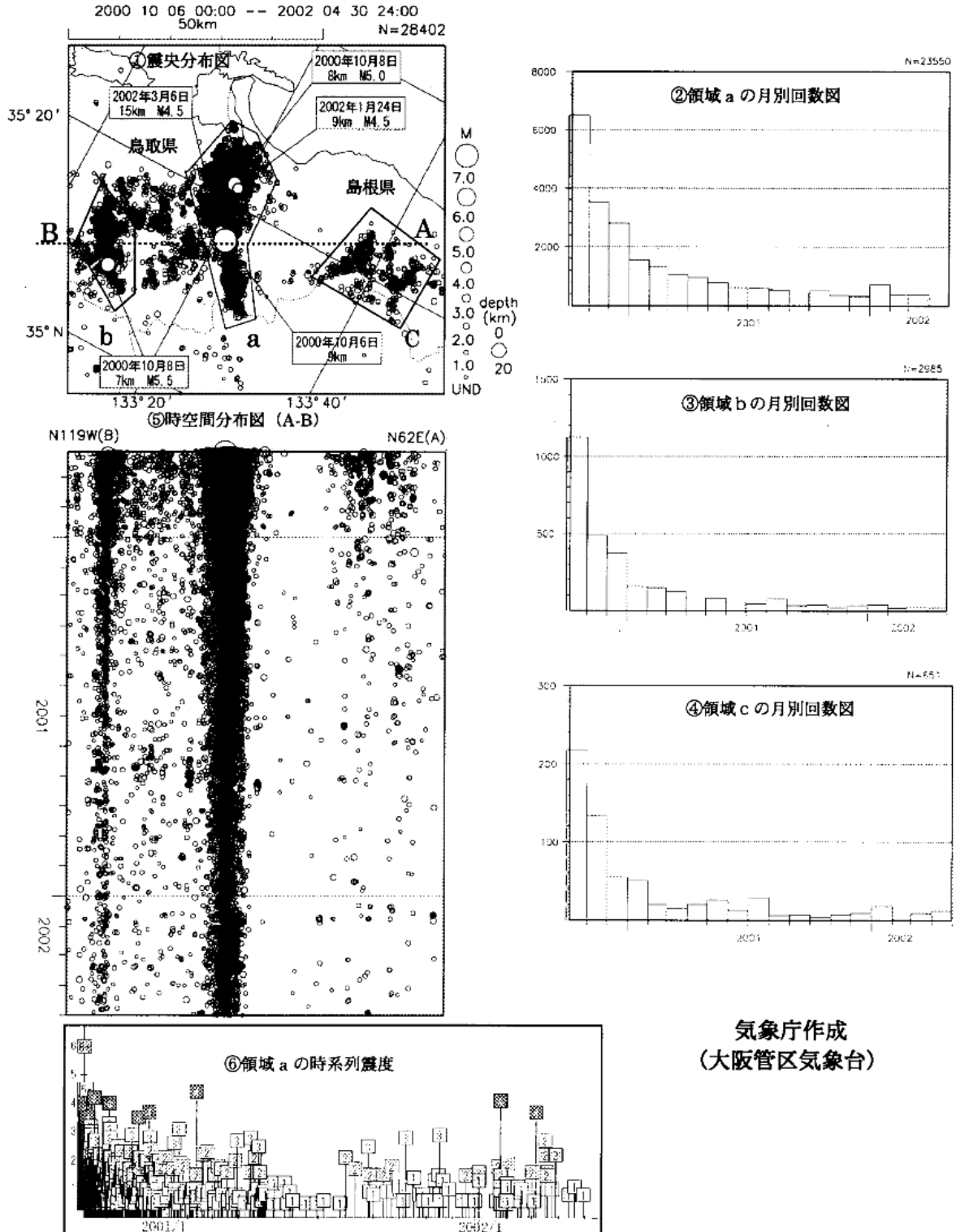


第1図 近畿・中国・四国地方とその周辺の震央分布(2001年11月~2002年4月)

Fig.1 Epicenter distribution in and around the Kinki, Chugoku, and Shikoku Districts (November,2001 - April,2002)

:Epicenter distribution, :Epicenter distribution(M ≥ 4.0)

平成 12 年(2000 年)鳥取県西部地震の余震活動 (2000 年 10 月~2002 年 4 月)



第 2 図 平成 12 年(2000 年)鳥取県西部地震の余震活動 (2000 年 10 月~2002 年 4 月)

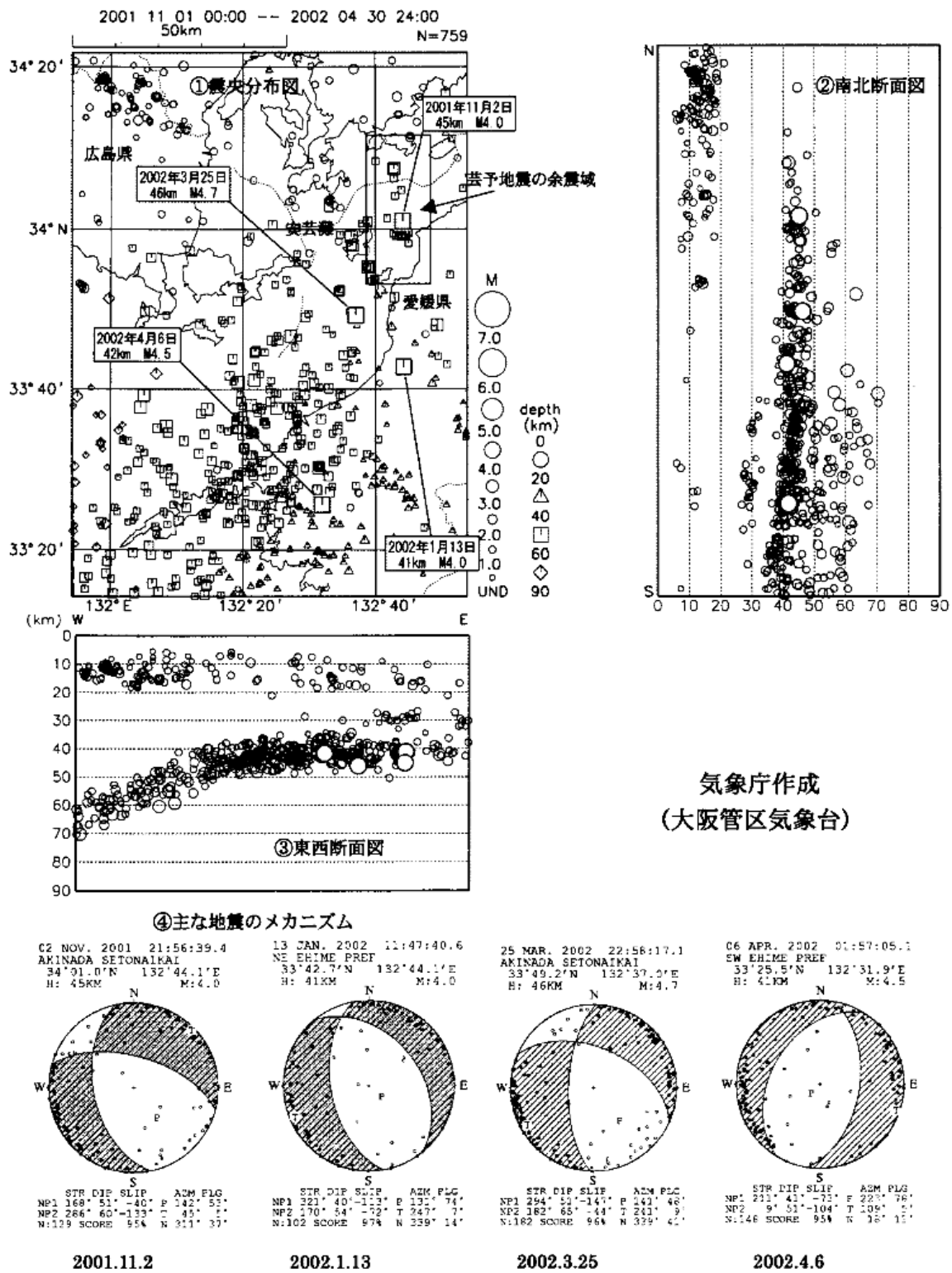
Fig.2 Aftershocks of the Western Tottori prefecture earthquake in 2000.(Oct,2000 - Apr,2002)

:Epicenter distribution, :Monthly earthquake number in the region a

:Monthly earthquake number in the region b, :Monthly earthquake number in the region c

:Time-space plots along projected on A-B, :Time-earthquake intensity diagram in the region a

平成 13 年(2001 年)芸予地震とその周辺の地震活動 (2001 年 11 月~2002 年 4 月)



気象庁作成
(大阪管区气象台)

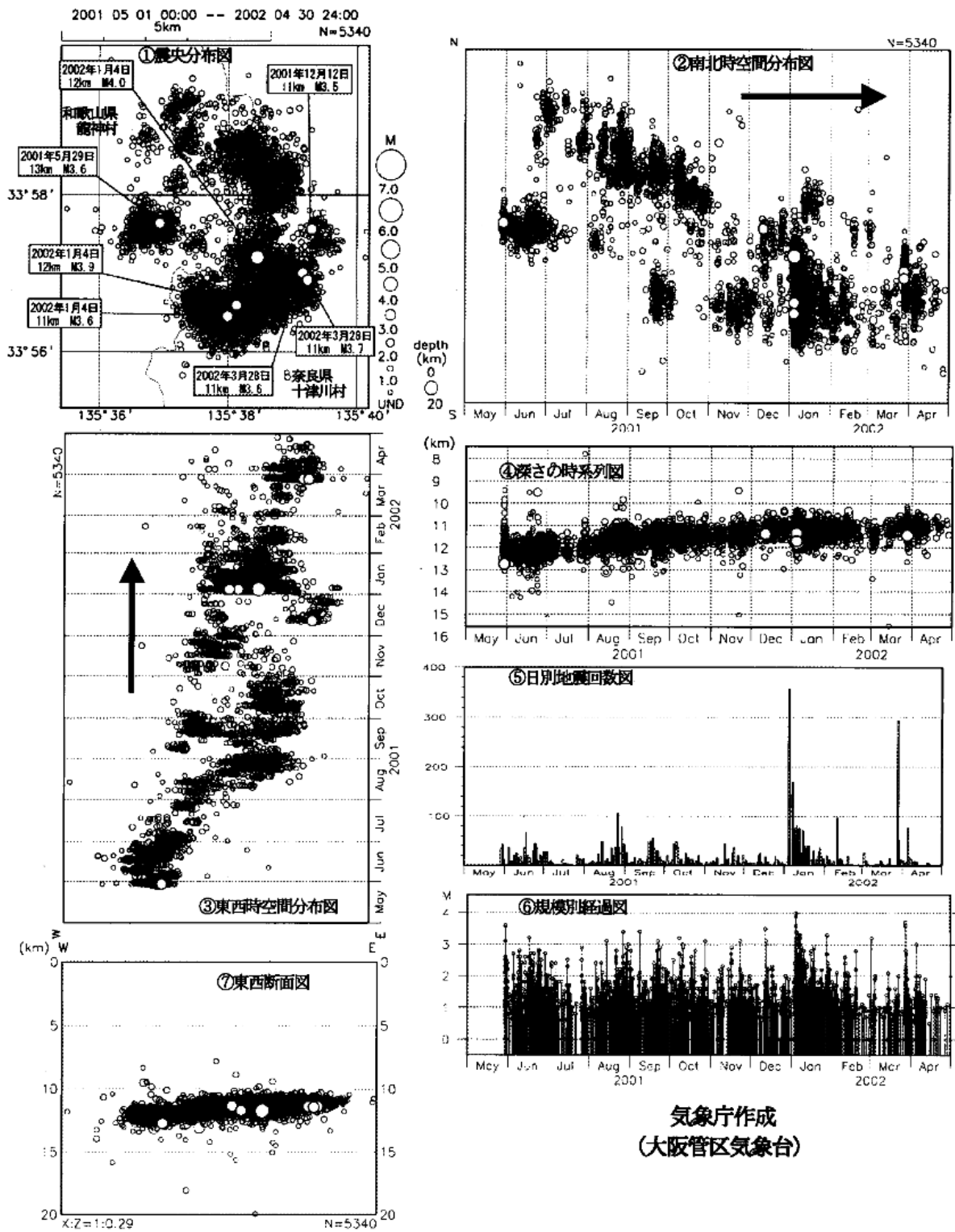
第 3 図 平成 13 年(2001 年)芸予地震とその周辺の地震活動 (2001 年 11 月~2002 年 4 月)

Fig.3 Seismic activity in and around the Geiyo earthquake in 2001(November,2001 - April,2002)

:Epicenter distribution, :Vertical section along E-W direction

:Vertical section along N-S direction, :Focal mechanism solution of major earthquakes

和歌山・奈良県境（龍神村、十津川村）付近の地震活動（2001年5月～2002年4月）



第4図 和歌山・奈良県境（龍神村、十津川村）付近の地震活動（2001年5月～2002年4月）

Fig.4 Seismic activity in the region around the Wakayama-Nara prefecture border.(May,2002 - April,2002)

- :Epicenter distribution, :Time-space plots along N-S direction
- :Time-space plots along E-W direction, :Focal depth-time diagram
- :Daily earthquake number :M-T diagram, :Vertical section along E-W direction